

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公表番号】特表2009-540498(P2009-540498A)

【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-513832(P2009-513832)

【国際特許分類】

F 21S 10/02 (2006.01)

【F I】

F 21S 10/02 100

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月4日(2010.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変色を有する光を発生するための照明システムであって、

可変色を有する光を発生可能なランプアセンブリと、

上記ランプアセンブリを制御するためのコントローラと、

上記コントローラに結合されているユーザ入力デバイスと、

離散した色点を規定しているメモリと、を含み、

上記コントローラが、上記ユーザ入力デバイスから受信したデータと、上記メモリ内の情報とに基づいて、上記ランプアセンブリのための色制御信号を発生するように設計されている照明システムにおいて、

上記メモリは、所定数の色相値を含む1D(1次元)色相テーブルと、所定数の彩度値を含む1D(1次元)彩度テーブルと、所定数の輝度値を含む1D(1次元)輝度テーブルとを含み、

上記メモリは、色空間の境界を規定する境界メモリを含み、

上記コントローラは、上記ユーザ入力データと上記境界メモリ内の情報とを比較し、上記ユーザ入力データの座標によって規定された点が上記色空間の境界の内側に位置するのか、または外側に位置するのかを決定するように構成され、

もし上記コントローラが、上記点は上記色空間の境界の内側に位置していることを見出せば、上記コントローラは第1のユーザ入力座標に基づいて上記1D色相テーブルから色相値を取り出し、第2のユーザ入力座標に基づいて上記1D彩度テーブルから彩度値を取り出し、第3のユーザ入力座標に基づいて上記1D輝度テーブルから輝度値を取り出し、これらの値に基づいてその制御信号を発生するように構成されており、

もし上記コントローラが、上記点は上記色空間の境界の外側に位置していることを見出せば、上記コントローラは上記境界メモリ内に規定されている上記色空間境界上の1つの点の置換座標を計算し、第1の置換座標に基づいて上記1D色相テーブルから色相値を取り出し、第2の置換座標に基づいて上記1D彩度テーブルから彩度値を取り出し、第3の置換座標に基づいて上記1D輝度テーブルから輝度値を取り出し、これらの値に基づいてその制御信号を発生するように構成されている、ことを特徴とする照明システム。

【請求項2】

上記コントローラは、上記ユーザが入力した座標を上記座標の軸の1つに平行な投影線

に沿って上記色空間境界上に投影することによって上記置換座標を計算するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

指定された色相について指定された彩度が、あるレベルにおける上記境界の彩度レベルよりは大きいが、上記境界の上記彩度レベルが、同じ色相における異なる輝度レベルにおける物理的に可能な彩度よりは小さい場合には、上記彩度値及び輝度値は、上記指定された色相において物理的に可能である上記色空間境界の最寄りの異なる輝度レベルにおける彩度値及び輝度値に置換されることを特徴とする請求項1に記載のシステム。